

なかつがわ日本語ひろば 開催レポート

Vol.3 銀行



概要

令和7年度 後期 第4回教室

日 時: 令和7年11月22日(土) 13:30~15:00
場 所: 中津川市ひと・まちテラス 活動室101abc
参加人数: 学習者 15 人、日本語パートナー11 人



テーマ/講師

銀行 (講師: 東濃信用金庫中津川支店 支店長 可知 健吾氏)



開催状況

銀行は日本での生活に不可欠なものです。窓口での手続きが難しかったり、全国的には外国人が口座売買などの犯罪に巻き込まれるケースもあります。そこで、手続きに必要な語彙や口座を持つうえでの正しい知識を身に付けてもらえるように、東濃信用金庫と連携し銀行をテーマに教室を開催しました。

○まず、「お金」についてグループで対話しました。参加者は、インドネシアやベトナムの紙幣と日本の紙幣を見比べて素材の違いを話し合ったり、ジュース1本がお互いの国ではいくらで買えるかなど、様々な視点から活発にコミュニケーションをとっていました。

○「口座」「手数料」「解約」など難しい用語を確認した後、可知支店長から話を聞きました。住所や在留資格が変わった際には必ず銀行に届け出ることや、帰国する際には必ず口座を解約し、人に売ってはいけないことなど、銀行を正しく安全に利用するための知識を学びました。

○また、「大変お待たせしました(=窓口に来てください)」など、窓口でよく使うフレーズについての話もあり、日本語パートナーにとっても、普段耳にする言い回しが外国人には分かりづらい場合があることに気づく機会となりました。

○最後に「お金で失敗した経験」をテーマにグループで会話をしました。キャッシュカードを無くした際の対応方法など、可知支店長にも積極的に質問しながら、学んだ内容を実生活に結び付けて理解を深めていました。

